

## カナダ金融政策(2018年7月)

～カナダ銀行は利上げを実施。今後も緩やかな利上げが見込まれる～

2018年7月12日

### お伝えしたいポイント

- ・ 良好な経済や物価上昇を背景にカナダ銀行は0.25%ポイントの利上げを実施
- ・ 金融政策報告書で成長率見通しやインフレ見通しを引き上げ
- ・ 良好な経済ファンダメンタルズや原油価格の上昇がカナダ・ドルの追い風に

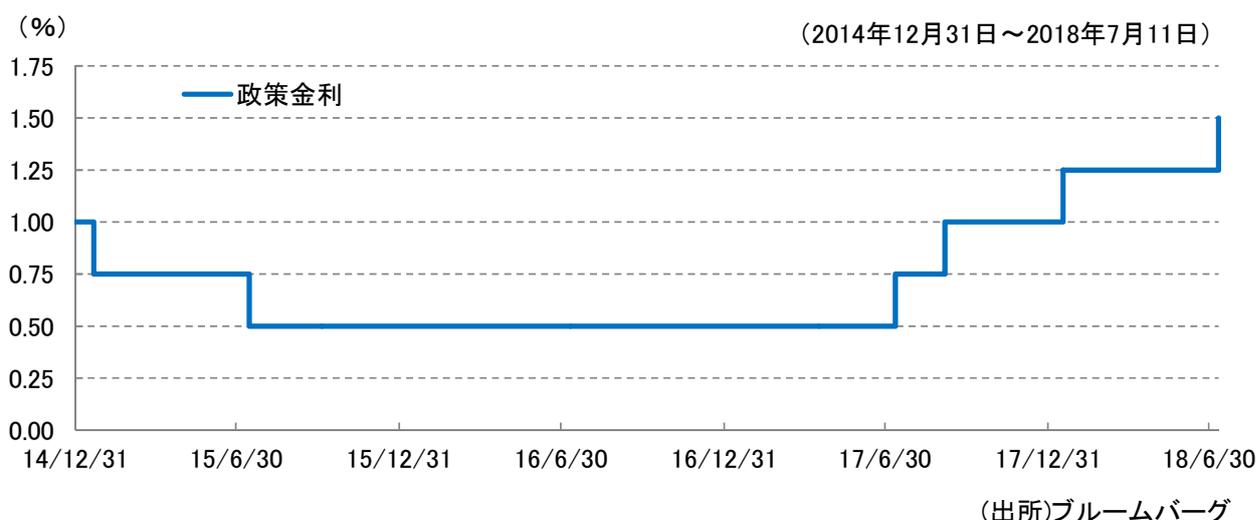
### <良好な経済や物価上昇を背景にカナダ銀行は0.25%ポイントの利上げを実施>

2018年7月11日(現地)、カナダ銀行(中央銀行)は政策金利(翌日物金利の誘導目標)を0.25%ポイント引き上げて1.50%としました。利上げは今年に入って2度目で、利上げサイクルに入った昨年7月からは4度目となります。

カナダ銀行は声明文で、堅調な経済見通しを背景に追加利上げの余地があることを示唆し、インフレを目標値に近づけるために緩やかなペースでの利上げが正当化されるとの認識を示しています。また、住宅市場が安定してきていることや堅調な輸出について言及する一方で、貿易摩擦懸念がカナダのいくつかの産業やその労働者に悪影響を及ぼす恐れがあり、そのことがカナダの経済成長やインフレ率の上昇を緩やかにさせるとの見方も示しました。

好調な米国経済や原油価格上昇の影響などもあり、カナダ経済は堅調に推移しています。また、インフレ率についても、足元ではカナダ銀行が目標とする+2%を上回る水準で推移しています。そのため、今回の金融政策決定会合について、市場では利上げ予想が大勢を占めていました。

### 《政策金利の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

## <金融政策報告書で成長率見通しやインフレ見通しを引き上げ>

政策金利の発表にあわせ、四半期に一度の金融政策報告書が公表されました。報告書では、2018 年末の実質 GDP(国内総生産)成長率の見通しは 0.1%ポイント引き下げられましたが、2019 年末と 2020 年末については引き上げられました。堅調な個人消費や原油価格の上昇などが成長に寄与するとの見通しです。インフレ見通しに関しては、2018 年末は 0.1%ポイント引き上げられましたが、2019 年末、2020 年末ともに変化はなく、インフレの目標値である+2%程度で推移することが見込まれています。

こうしたカナダ銀行の見通しを勘案すると、当社では利上げが今後も緩やかに行われていく可能性が高いと考えています。

## <良好な経済ファンダメンタルズや原油価格の上昇がカナダ・ドルの追い風に>

カナダ経済が堅調である背景としては、経済的な結びつきの強い米国の経済が好調であることに加え、カナダ国内の活発な個人消費が貢献していることが挙げられます。失業率が低下傾向にあることや、賃金上昇が継続していることなどが、活発な個人消費の原動力となり、カナダ経済の成長をけん引していくことが期待されます。そして、こうした良好な経済ファンダメンタルズを受けて、カナダ銀行は緩やかな利上げを継続すると見込まれることが、カナダ・ドルの好材料になると考えています。また、原油価格が堅調に推移していることも、資源国通貨であるカナダ・ドルの追い風になるとみています。

ただし、NAFTA(北米自由貿易協定)再交渉の動向には引き続き注視が必要です。再交渉の協議は難航しており、市場では今年中に妥結に至らないとの見方が優勢になっています。そのため、今後も NAFTA 再交渉に対する不透明感は払拭されず、カナダの金利やカナダ・ドルの上昇圧力を抑制する要因になるとみています。

以上

### 《2018 年 7 月「金融政策報告書」の見通し》

	2018	2019	2020
	Q4	Q4	Q4
実質GDP(%、前年比)	2.0 (2.1)	2.2 (2.0)	1.8 (1.7)
消費者物価指数(%、前年比)	2.5 (2.4)	2.1 (2.1)	2.1 (2.1)

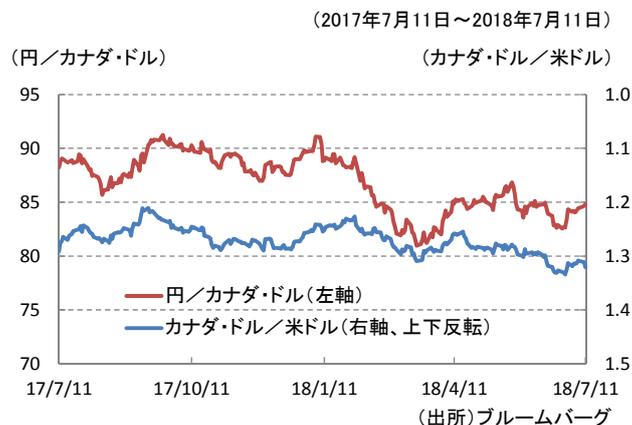
※下段括弧内の数値は2018年4月「金融政策報告書」の見通し

(出所: Bank of Canada Monetary Policy Report - July 2018を基に大和投資信託が作成)

### 《WTI 原油先物価格の推移》



### 《為替の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

## <ご参考> 当社の関連リサーチ

### ◇マーケットレター

- ・カナダ出張報告(2018年5月)～好調なカナダ経済の「今」～(2018/5/24)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180524\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180524_1.html)
- ・カナダ金融政策(2018年1月)～良好な経済などから利上げを実施。今後も緩やかな利上げを継続する見込み～(2018/1/19)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180119\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180119_1.html)
- ・カナダ金融政策(2017年9月)～予想外の連続利上げ。政策金利を0.25%ポイント引き上げ1.00%に。～(2017/9/7)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170907\\_2.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170907_2.html)
- ・カナダ金融政策(2017年7月)～7年ぶりに利上げ。追加利上げ期待がカナダ・ドルの堅調要因に。～(2017/7/13)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170713\\_2.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170713_2.html)
- ・カナダをめぐる最近の三つの材料～政策金利、信用状況、NAFTA再交渉～(2017/5/29)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170530\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170530_1.html)
- ・カナダ銀行は政策金利を据え置き～次の一手は利上げの見通し～(2017/4/14)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170414\\_2.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170414_2.html)

### ◇Weekly Report

- ・カナダの金融市場動向(毎週更新)  
<http://www.daiwa-am.co.jp/market/weeklyreport.php?type=5>

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>